

租税教室、楽しく終了しました

小学校6年生に向けて、12コマ、租税教室をしました。クラスごとに異なる雰囲気とふりかえりや感想の違いが楽しく、小学生の素直な思考に感心しました。

☆租税教室とは

「国税庁では、次代を担う児童・生徒が、民主主義の根幹である**租税**の意義や役割を正しく理解し、社会の構成員として税金を納め、その使い道に関心を持ち、さらには納税者として社会や国の在り方を主体的に考えるという自覚を育てることを目的に、**租税教育**の充実に向けて支援を行っています。」

(<https://www.nta.go.jp/tokyo/shiraberu/gakushu/index.htm>)

自治体、法人会、税理士などが担っているようです。

☆進め方は

税金クイズ。グループワークで「そもそも税金は何のために払うの？」を考え、黒板に貼ってもらいます。そして、「その目的を達成する為に、もっと幸せに暮らせるために、税金の使い道を考えよう」。みんなが書いた使い道を見よう。最後に、ふりかえりで税金について、感想などを書いてもらいました。



☆ふりかえりから

「税金が身近なものだとわかった。」「税金は大切なものだった。」「自分達にもたくさん使われていることが分かった。」というようなコメントがたくさんありました。

税金は何のためにあるのか？納税の義務は何故あるのか？について考えてくれれば良いなというプログラムでした。小学生の方が、こちらの意図よりも深く考えてくれたようです。福祉のために使ってはどうか、貧困問題や被災者支援に使っては？平和のための外交に使っては？というコメントもありました。

小学生の思考は大人よりも幅広く深くつながっていくこと、小学生の可能性の大きさにうれしくなり、大人として身が引き締まりました。

☆ふりかえりには、税金の用途のアイデアについて「こういう意見があったけど、ぼくはこう思う」というのもありました。時間があれば、みんなで対話してみたい話題です。ふりかえりから、新しい対話が生まれることを実感しました。